

**【米子工業高校の皆様、
ありがとうございます】**

啓成小学校は米子工業高校と道をはさんで立地しています。朝の登校時間に一緒になることも多いです。小学校の子どもたちと一緒に学習もしていただいています。

12月7日には、4年生が環境エネルギー科の2年生と、「サンドブラストでお気に入りのマイコップを作ろう」という学習をしました。高校生の説明を聞いた後、マスキングシートをクラフトパンチで型抜きします。うまく抜けないときには、高校生に手伝ってもらいました。また、作業がなかなか進まない子には、優しく声をかけてもらいました。機械を使う作業はしていただきましたが、一人一人が個性豊かなマイコップを作り、大満足でした。

また、1学期には、3年生が情報電子科の3年生とパソコン交流をしました。文字入力の仕方やイラストの色の付け方を教えていただきました。1対1という手厚い環境のもと、ていねいに教えていただいたので、どの子もあっという間に技術を身につけることができました。

さらに、今年も建築科の3年生にはライン引きをお世話になりました。今回は、前校舎1階の廊下の中央ラインを引いてもらいました。この日は、ペンキが乾くのを待っているときに、鳥取県中部地震が発生しました。すぐに小学生の安全を気づかっていただきました。

このような交流で、小学生は高校生の持っている技術のすばらしさや人に接するときの優しさを感じています。ありがとうございます。

合同パトロール

11月18日（金）午後5時より、東山中学校区（東山中・啓成小・車尾小）の合同防犯パトロールを実施しました。ご参加いただいた方々、ご協力ありがとうございました。

今年は地域の方から生徒の登下校の交通マナーについてご指摘いただくことが何度かありました。その都度、生徒に規範意識が向上するように話をしたり、安全指導を行っています。

地域の皆さまも引き続き生徒の登下校の様子を見守っていただき、生徒に声をかけていただけると助かります。朝の始業時間は午前8時30分、12月・1月の完全下校の時間は午後5時15分に設定しています。何かお気づきのことなどありましたら、学校へご連絡ください。（Tel 34-3241）

冬休みのお知らせ

早いもので、もうすぐ平成28年も終わろうとしています。本年も地域の皆さまには、学校開放日をはじめ、体育祭・文化祭などの行事をご参観いただき、お礼申し上げます。また、交通立番やパトロール・あいさつ運動など、様々なかたちで多大なご支援をいただき、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

東山中学校の冬休み期間は12月23日（金）から1月5日（木）です。この間、生徒は家庭や地域で生活する時間が多くなります。どうぞ、引き続き見守り活動等のご協力をよろしくお願いします。

来年もよき一年になりますように生徒・教職員で力を合わせてがんばっていきたいと思います。

地域の皆さまもよいお年をお迎え下さい。

米子の災害⑩

啓成校区の歴史散歩

亀尾八洲雄

明治年間の米子附近は絶えず暴風雨に襲われ、明治二十四年十月十四日、明治二十六年八月二十二日、明治二十七年八月二十三日・九月一日と洪水が発生して、米子だけではなく鳥取全県下に及んだ。

明治十九年十月の岸本町（現伯耆町岸本）のある寺（曹洞宗）の過去帖には幼児の戒名〇〇善嬰児・〇〇善嬰女と十数名の戒名が記されているが、後は男子・女子とのみ記されている。連日の葬式で戒名を付ける間もなかつたものであろう。

明治二十四年十月十四日、朝からの大暴風雨は夜になっても止まず、益々河川は増水して避難準備が始められていた。午後十時すぎ米子警察署の半鐘が乱打されたが、すでに宗像・勝田の両土手は決壊して濁流は米子町内に流れ込んでおり、加茂川を流れ行く人もあった。大塚誠太郎町長は自ら救助船に乗り込み陣頭指揮をとり、救

助船数隻をだして人命救助に努めた。更に日野川の八幡宮馬場から四日市村の高田土手まで約九〇〇メートルが決壊して、濁流は浦木・熊党・日吉津から日本海に注いだ。増水位は約七尺（約2.1メートル）であったといわれる。被害額は約九万六千五百円で、家屋全壊約九〇戸、附属建物約一四〇棟、浸水家屋約二一〇〇戸、土砂流入田畑五五〇町歩、綿約二万六八〇〇貫、米約五六〇〇石であった。

また、明治二十六年八月二十二日は夜半から豪雨となり翌二十三日は法勝寺川が氾濫して、宗像・勝田土手を破り米子町に浸水して過半数が床上浸水で船で往来したといわれる。

